

エコけん ニュース

No 93 2007. 4

連絡先 NPO法人エコけん事務局

FAX 092-944-3012 (火~土 9:00~17:00)

e-mail eco_ecoken@ybb.ne.jp

発行責任者 清水佳香

http://www10.ocn.ne.jp/~ecoken/

3月活動報告

平成18年度最後の月。本年度のまとめと来年度の準備の中で、何とも慌ただしく過ぎていきました。皆様はいかがでしたか？



自主活動においては、人気のエコエコクッキングに新しいスタイルが生まれました。受講生は、講師のエコエコクッキング実演を参観されるという形です。もちろん、その間に講師は説明ややりとりをして参加者の暮らし実践を促していきます。方法の全体が見える、という点で効果が高かったのではないのでしょうか。

エコロの森では、古賀市の二つの小学校からたくさんのペットボトルキャップが届きました。これは、保護者の方による子ども達を巻き込んだ活動だったそうです。自主的な活動の題材になることができ、うれしく思いました。

さて、これから大急ぎで18年度のまとめをしなければなりません。その報告は5月の総会で致します。お時間があったら覗いてみてください。お待ちしております。

日	自主事業	受託事業 (エコステ活動)
1		MY企画(コードアクセサリー) 商品開発活動作家(クサボン)作品展
6		ビンゴ研究会
7		自主活動教室(エコエコクッキング)
8		MY企画(コードアクセサリー スペシャルデー)
9		MY企画(コードアクセサリー) ボラ会(廃油石けん 紙すき)
12	定例会議	教室会議 ボラ育成会議 展示会議 全体運営会議
13		MY企画(コードアクセサリー) ボラ会(エコエコクッキング)
14		エコエコクッキング エコ環境教室(福岡市市民グループ)
15	ニュースレター23号配信	MY企画(コードアクセサリー)
16	展示パネル納品	MY企画(コードアクセサリー)
17	エコエコクッキング出前	再生家具・自転車展示会開始
20		エコ講座 ボラ交流会 MY企画(コードアクセサリー)
21	恒例の春休み教室も無事終了。自然観察という新しいアプローチも試みました！より多くの人たちにエコを伝えていけたらいいなあ	MY企画(スペシャルデー)
22		エコ環境教室(市民グループ)
23		MY企画(コードアクセサリー)
24		春休み教室開始 工作教室(コルク) かえっこショップ
27		リメイク教室(ペットコサージュ) パンク修理教室
28		工作教室(エコロ) 子どもエコエコクッキング
29		子どもエコエコクッキング MY企画(コードアクセサリー)
30		リメイク教室(紙すき) 環境人形劇 MY企画(コードアクセサリー)
31		自然観察教室 カラス板屋



ティッシュ使用量4kg



花粉の季節が終わり、やっと、すがすがしい空気を安心して深呼吸できるようにになりました。

花粉症にとって、ティッシュは必須アイテムですが、日本人は1人当たり年間4kgのティッシュペーパーを消費しているそうです。1箱150g(160組)とすると、年間約27箱、1ヶ月に2箱以上使っていることとなります。4人家族だと1ヶ月で9箱、3~4日で1箱も使っていることとなります。消費量には、ポケットティッシュも含まれているので、実際のティッシュボックス消費はもう少し減ります。



外国では、ティッシュは値段が高いため日本のように気軽に使うことはないようです。たとえば、5箱パックの場合、日本では安売りの時には200円~300円で買えますが、アメリカでは1,000円、イギリスでは2,000円近くもするそうです。また、広告ツールとして街角やスーパーで無料で配られているポケットティッシュは、日本のオリジナル商品だとか。日本のティッシュは柔らかく質も高いですが、値段が安いからでしょうか、清潔好きという国民性からでしょうか、ぞんざいに使われ過ぎているようです。

新聞や雑誌のようにリサイクルされることのない、使い捨てられるしかないティッシュ。使い方をみなおしてみませんか。テーブルや床などの汚れを拭くときには、布巾を使うとか、お皿の汚れにはウエス布を使うとか。必ずしもティッシュでないといけない場面は減りそうです。また、最近では牛乳パックから再生されたティッシュもあります。少しでも環境に負荷のかからない方法を選んでいきたいですね。



エコけんニュース もうすぐ100号に! (I)

1999年9月、焼却施設の建設報道をきっかけに、エコけんの卵が産まれました。その1ヶ月後には「脱焼却」という循環型社会の実現を願う提言書をまとめ、2ヶ月後には、「ごみ減量大作戦」というニュースを各戸に手配り、3ヶ月後には舞の里小学校でその他プラスチックの自主回収開始と、いやはやそのスピードに、ニュースバックナンバーを片手に振り返るたび、思わず笑ってしまいます。今でも充分エネルギー過多ではありますが、あの当時、どれほどのエネルギーが私たちの中に高まっていたのかしら...



エコけんはいつも広報と共にありました。視覚化され、かつ残り続ける媒体は、いつも私たちの姿勢を正してくれました。誕生から足かけ8年、毎月発行し続けたニュースの100号発行を控え、これまでの活動をニュースを頼りにちょっと振り返ってみようと思います。

提言書をつくるために現状を知ろうとした私たちに迫ってきたのは、新工場計画と旧工場の惨状でした。第1号には「たった今私たちにできること」を呼びかけ、行動し、伝えるために精一杯工夫した様子が伺えます。

ごみを資源に

ごみ減量大作戦

品名	数量	備考
PETボトル	100個	
紙類	5kg	
プラスチック	2kg	
その他	1kg	

▲記念すべき第1号・2号▶

なんと、パッカー車を追いかけてごみ袋の数を数えた結果も掲載! その他プラスチック回収のビフォー・アフター検証のため...

エコステだより

リサイクルプラザにおいでませ

「プラスチック製容器包装のライン」を例にとり、場内の作業の流れを説明する新しい掲示物ができました。私たちの家庭で分別されたものが、ここリサイクルプラザ(通称リサプラ)に搬入され、選別・圧縮された後、リサイクル工場へと搬出されるようすが一目でわかるようになっています。



▲作業の流れの説明

もちろん見学コースにはあちらこちらに大きな窓があつて、工場の様子を垣間見ることができます。金属をがっちりつかむ巨大なクレーン・重機が走り回るプラットホーム・選別されている方たちの真剣な様子など見どころ満載ですが、残念なことに、「プラスチック製容器包装のライン」は見学コースからは見えない場所にありました。またリサイクルプラザは朝が早いので、せっかく見学にお見えになっても時間帯によっては、稼働していないことがあります。そんな時のために、これらの掲示物が作られました。



工場からのお願い

「エコロの森探検隊」でおなじみのエコ郎さんとリサちゃんが家族みんなで登場していて、リサイクルプラザもなんだかアットホームになりました。よかったら皆さんも見においで下さい。「森さん(工場の人)」やエコ郎さんたちの家族も一緒に、お待ちしております。



まなび つどい つなぐ
エコロの森 再生・展示棟
ecolo no mori station

◆◆◆◆ 古賀清掃工場 再生・展示棟 ◆◆◆◆

☎ 811-3121 古賀市筵内1970-1 ☎ 電話 092-942-1530 内線 (701)

☎ FAX 092-942-1532 ✉ メール ecosta@ecolo-no-mori.com

～事務局より～

- ❖ エコけん総会の時間が、間違っていました。訂正し、お詫び申し上げます。
正) 5月14日(月) 14:00～ 舞の里3丁目集会所です。
- ❖ エコけんニュースは、古賀市市制施行10周年記念事業 プロジェクト「わ」に参加協力します。

